

本会議質問から

第1回定例会では、8人の議員が個人質問を行いました。質問順に主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党



竹原 孝昭 議員

質問 1 観光立市熊本都市宣言と今後の観光振興
一千年以上の歴史を誇る藤崎宮秋の例大祭とお城まつりの実施時期を調整し全国に魅力をアピールできないのか。

答弁 お城まつりやみずあかり等と一体となった秋の風物詩として、PRしていく手法について実現に向け検討していきたい。



質問 2 花畑地区の再開発は十分な議論がなされたか
当初計画からの変更に対して時間的余裕もなく市民の理解と議会との議論もなく予算が提案されこれでいいのか。

答弁 中心市街地の再デザインに向け熟度を上げる中で、今後議会での議論はもとより、多くの市民からの様々な意見をいただきたい。

くまもと未来



田尻 善裕 議員

質問 1 問題ある社会福祉法人の適正化と市の責任は
市が改善命令を出した社会福祉法人。自浄作用が働かない法人であれば、解散させるべきではないか。

答弁 今後の法人側の対応を見ながら、手順を踏んで対処しつつ、抜本的な改善につながる措置を徹底して求めていくことが市の責任。

質問 2 桜町花畑再開発は、一旦立ち止まり考えては
多大な税金を投資するコンベンション施設構想。市の未来を考え、交通問題解決や投資効果考えたものにすべきでは。

答弁 MICE 機能の充実、大きな経済波及効果を生み、都市知名度の向上にも寄与。投資効果が上る幅広い集客が望める施設整備に取り組む。



市民連合



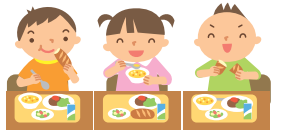
上田 芳裕 議員

質問 1 在宅医療構築への現状と将来展望について
高まる在宅医療ニーズに対し、在宅で医療と介護サービスを受けるための現状課題と今後の取り組みについて。

答弁 地域包括ケアシステムを構築していくためには、医療と介護の連携が重要であり、今後、地域毎のネットワーク強化に取り組む。

質問 2 給食費の多子世帯の負担軽減について
小中学校の給食費値上げに対し、多子世帯へは少子化・子育て支援として負担軽減策を検討できないか。

答弁 子育て支援策としての優先順位の問題や受益者負担に基づく公平性の確保等の課題もあると考えている。



公明党



藤岡 照代 議員

質問 1 地域活力を作り出す産業・経済の振興
中小企業金融円滑化法期限到来後の中小企業者への支援及び商店街の再生に対しどのように取り組むのか。

答弁 中小企業支援では信用保証料全額補助の継続、商店街再生では空き店舗対策をはじめ商店街が自ら取り組む活性化事業への支援を行う。

質問 2 安心の子育て支援について
待機児童解消に向け保育士の人材確保・処遇改善への取り組みは？また病児・病後児保育施設整備の今後の計画は？

答弁 潜在保育士を対象とした再就職支援研修会の開催や国の事業を活用していく。病児・病後児保育施設は、東区へ1力所増設を計画。



共産党



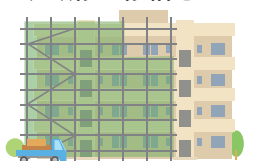
益田 牧子 議員

質問 1 市民文化の拠点である産業文化会館の再開を
築32年の産業文化会館を壊すのはもったいない。広場化の約20億円の予算は撤回し、再開のために使うべきだ。

答弁 安全性・快適性の確保に多額の経費を要することもあり、新たなまちづくりに向け閉館。新たな方向性を実現するにあたり広場を整備。

質問 2 300億円の MICE 建設でなく改修・修繕へ転換を
コンベンションは今ある施設の有効活用をし、市営住宅、市有建築物、学校の長寿命化計画を立て、改修・修繕を！

答弁 MICE の推進は、九州の交流拠点都市を目指す都市戦略上も重要。今後議員各位、専門家や市民の意見を伺い基本計画の策定を行う。



自由クラブ



北口 和皇 議員

質問 1 地産地消条例の制定について
地産地消の取り組みに実効性を持たせるため、地元農産物使用の数値目標を掲げた地産地消条例の制定を求める。

答弁 熊本市産業成長戦略において、食産業を成長産業と位置付け重点的に支援することとしており、条例化も含め今後研究してまいる。



質問 2 キャッチ・アンド・リリース禁止条例の制定を
江津湖の貴重な生態系を保全するため、在来魚を捕食するブラックバス等外来魚の再放流を禁止する条例を制定すべき。

答弁 生態系の保全のため、様々な啓発を行っているが、再放流の禁止も有効な手段と考え、25年度に条例の実現化に向けた検討を行う。

自民党



澤田 昌作 議員

質問 1 保育士の待遇を改善する人材確保策について
全国的に問題となっている保育士不足に対し市としての保育士確保に向けた支援策について。

答弁 潜在保育士を対象とした実地研修会を市保育園連盟と共同で開催。保育士等処遇改善臨時特例事業を活用し保育士の人材確保に努める。

質問 2 来春開校予定の力合西小の安全対策について
西廻りバイパスとの交差点で交通量の多い熊本新港線への歩道橋設置など通学路の安全対策について。

答弁 学校、保護者、地域の関係団体で構成する学校安全対策協議会と連携して検討すると共に、警察や道路管理者に対策を要望していく。



自民党



くつき 信哉 議員

質問 1 政令市としての要望活動について
直接国に施策や方針の要望を行うことができる。議会と共に本市の将来を見据えた、効果的な活動を求める。

答弁 国に対し、本市の実情や施策の必要性を適時に分かりやすく伝えていく。また、市議会とも協力しながら効果的な要望活動に努める。

質問 2 合併の総括、屋外運動場の駐車場について
現在、私有地を駐車場としている。グラウンドゴルフ等多くの利用があり、今後も利用者の目線で検討を！

答弁 体育施設の駐車場は、敷地内や公有地に確保することとしている。今後、利用者状況等を踏まえ、関係部局と協議していく。

